

☐ ゴミ収集料金の値下げ、廃電化製品の無料回収等受益者擁護の政策を打ち出し対応してきたが、粗大ゴミについても処理業者に委託するか、小さくして環境衛生組合へ持ってゆくかで対応したい。

浄化槽の手続き

☐ 水洗トイレが普及してい

高齢者対策が急務

高齢化社会に向けての福祉対策

☐ 高齢化社会における①在宅サービスの状況と②デイケア事業の将来計画は③行き届いた福祉サービスのうえから家庭奉仕員の増員は

☐ ①個々の申請に基づき、現在40人のねたきり老人などの介護を3人の家庭奉仕員が担当している。一人当たりの所要時間は1時間半から2時間半かかっている。②介護者が不在となったとき一時的に収容できる中間病院を将来の老人対策として考えたい。③3

るが、浄化槽の申請手続きは適正になされているか。

☐ 建築確認申請に基づく浄化槽の設置について、書類上の審査をしている。浄化槽の設置許可は、保健所が行うもので町ではない。しかし、生活排水の浄化は、環境対策の柱であるので、維持管理の面で十分に指導していきたい。



ホームヘルパーの介護で気持ちよさそう

名という職員数は、郡内9市町村でも最高である。当分、増員は考えていない。

福祉電話の設置

☐ ひとり暮らしの老人が安心して暮らせるよう、福祉電

話や、愛のインターホン”設置の考えは

☐ 希望があれば試験的に考えたい。二台一組で相手を必要とするため、協力者が得られるか検討していきたい。

視覚障害者にガイドヘルパー

☐ 視覚障害者にガイドヘルパーの考えは

☐ 社会福祉協議会等を中心として意見を聞きながら、ガイドヘルパー制度の導入を検討していきたい。

地域の発展・活性化

☐ 成田空港開港によって地域の発展・活性化等期待してきたが、不十分な面も見受けられる。町としてどのように対応していくのか。

☐ 開港後10年以上を経過したが、この間、要望の実現したものに学校・保育所の防音化をはじめ、共同利用施設の

住民の防災意識が力ギ

☐ 9月1日の防災の日に、町でも防災訓練を行い、成果があったと思う。災害発生の種類によって訓練の方法も違ってくると思われるが、どのような対応策を考えているか。

☐ わが町の恵まれた自然は一方では大きな災害をもたらす要因ともなりうるので、非常時に備え、日頃から住民の安全対策に力を注いでいかななくてはならない。いち早く安全な場所に避難させるかを重

点に訓練したがそれなりの成果があった。しかし、大方の住民は大きな被害を被った経験がないので意識が低く、参加者が十分とはいえない。

災害が発生した場合、事態に応じ迅速な応急活動態勢をつくり、情報の収集や避難、災害の防止に努めるが、山崩れ等心配のある地域は、日頃から自身で点検し、町の指導援助を受け改修をしておく必要があるかと考える。

粘り強い交渉で

空港関連問題

建設や周辺対策交付金の交付等があげられる。また、未達成のものに芝山鉄道の延伸、騒防法線引きに基づく地区分断、騒防法線引きの見直しなどが今後の課題として残されているので、引き続き空港公団や県等に働きかけていきたい。

をとげているところであるが①総武本線の複線化、②芝山鉄道の建設見直しは。

☐ 総武本線複線化 芝山鉄道の見直し

☐ ①佐倉銚子間、成田銚子間、外房・内房の四路線の複線化期成同盟会は、JRになつてから千葉県JR線複線化期成同盟会に一本化し、複線化運動を進めている。自動車の普及等によって利用率が減少している中での問題であり困難性も強いが、地域発展の